目標にし、午後又は一日と日程を定め運営委員会において立案計画し実施する。

(三) 婦人学級運営の例

◇共通学習課題により各地区において学習内容の設定と期日、時間を定める。

◇月一回の同一学習の通信教育をする。

◇運営委員会により学習内容及び関係ある事がらを取り運ぶ。

◇運営委員のメンバーについて

各公民館長、婦人会長、学級の級長副級長、庶務会計、各班の連絡員

◇運営委員の役割について

○調査活動により分析し、学習内容と期日、時間を定め連絡調整を図り、学習物の配布、出欠の報告、学習内容の伝達と次期内容のお知らせを行い、出席の誘いをする。

○常に反省・評価し、必要に応じて委員会を開いて更に立案計画する。

○他学級との交流、援助を図る。

(四) 昭和五十三年度の学習内容(表2参照)

(五) 婦人会活動の一例

戦後社会不安の折、相互扶助や労力奉仕によりコミュニティ作りにはげむ。

○愛の一声運動

○日の丸高揚運動

○各行事に積極的参加

○敬老会の自主的実施

単婦において良いところを取り入れ連絡を密にして実施している

○新生活運動を率先実施し、できることよりとの話し合いで見舞返し、香典返しは廃止へと実践している

○青少年育成部落懇談会に参加し、子供たちの健全育成につとめている

表2　昭和53年度婦人学級共通学習計画と内容

学習目標　家族の健康管理につとめ明るい家庭作りと、健全な子供の育成を図る

月日 時間	学習課題	学習内容	時間	学習方法	講師・助言者
10	家族の健康と管理について	家族の健康と体力づくり	4	講義と実技	県体育指導員 公民館職員
		日常の食事のくふう	4	〃	町社会教育指導員
		手づくりのよさ(おやつ)	4	〃	〃
		血圧の正しい知識と町民の健康の実態	4	講義とスライド	町の保健課長 町の保健婦
		応急手当と家庭マッサージ	3	講義と実技	赤十字社
4	地域住民としての学習	家庭における税金の定め方 住民の福祉、政治と家庭	4	講義	町税務課長 町住民課長 選挙管理委員会
		婦人の地域づくりとボランティア活動について	4	映画と講義	公民館長 県婦人指導員 町社会教育指導員
4	家庭生活と余暇について	家庭の日の活用について 家族関係について	4	アンケート活用 講義と話し合い	山本ナカ先生 公民館長 町社会教育委員
		余暇の見いだし方 余暇のすごし方	4	〃	公民館長 町社会教育指導員
4	家族の人間関係について	仕事と休養 生活と設計	4	映画・講義	県北社会教育事務所より
		幼児のしつけ 遊びと創作	4	講義と実技	小学校長 町社会教育指導員
4	家庭の安全性	電気・ガス器具の取り扱い方	4	〃	電気・ガス販売店主
		農薬の使用と管理 衛生管理	4	〃	改良普及所より
計26	交流と交歓会	移動学習をかね研修旅行 (6学級生全員及び希望者)	1日	日常使用されている食器についての研修のために本郷焼の窯元に行き、絵つけの学習 (会津方面の見学)	
婦人会、婦人学級小グループと合同学習として		手芸関係、死蔵品の活用、料理の講習会、生花、野菜の保存法、着付の講習会、編物関係、等 話し合って、学級生と運営委員会にて選び実施する。			

㊟左端の時間数は各学級で取りあげて学習しようとする時数。
他学級で同じ学習内容で実技を取りあげる場合、学習ずみの学級生が自主的に応援する。

四、今後の問題

○学習意欲があっても就労婦人の関係上学習日に出席できない人もある。その人たちのために婦人の就労者の多い会社によびかけ、職場での学級の開催を図る。(現在努力中)

○婦人学級生に年齢の差がある。

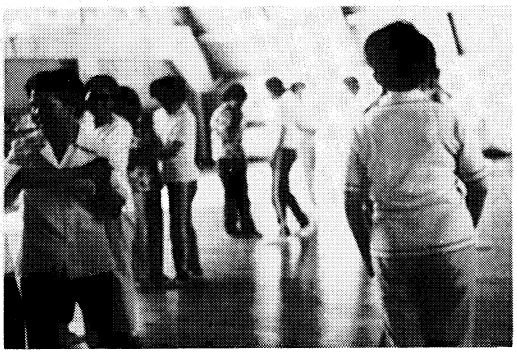
○毎年同じ婦人の入講が⅔ある。

○年齢により学習内容を定め、わくを設定する。

○意識調査により、婦人の地位の向上を目指す学習グループの育成を図る。

○学習会に参加しやすくするための家族の理解と協力を得るために、学習成果が日常生活や地域活動に生かすためのくふうが必要である。

○各種婦人団体との連絡・協調を更に深めるために組織化を図る。



リーダー研修会

五、終わりに

その地域において婦人の果たす役割の重要性については認識が深まりつつある。毎年学習意欲も高まり、集まる学級生の数も多くなってきている。更に自主的団体の発展は、学級やグループにて学ぶことにあるとの認識を深め、「自分で考え、自分で計画し、自分で運営する」費用も自分で負担するまで伸びて行くことを願い、リーダーの育成につとめる。婦人の五ベル運動の「食ベル、だベル、くらベル、調ベル手をさしのベル」を常に考え実践し、共同学習の場を広げるとともに、共感し協力して進む婦人の多くなることを期待する。各自おかれている立場において家庭を守り、おわりのない道の婦人教育の充実を図っていきたい。

熱心に造花づくり